

年次継続監視評価表(令和5年度)

1 基礎情報

対 象 施 設	春日部市立ふじ学園
施設の設置目的	児童福祉法第43条第1項に規定する福祉型児童発達支援センターとして、障がいのある児童に対し、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練を行うこと並びに心身の発達に遅れ又は心配があると思われる児童に対し、発達の支援を図ることを目的としています。
施設所管部署	福祉部 障がい者支援課
指 定 管 理 者	株式会社コマーム
指 定 期 間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
指定管理業務内容	(1)春日部市立ふじ学園条例第3条に規定する業務 (2)施設(設備及び物品を含む。)の維持管理に関する業務 (3)その他、仕様書に定める業務

2 施設利用状況の推移

区 分	過去5年間の平均	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人数(件数)	—	6,673人	7,932人	8,047人		
対前年度比	—	—	1,259人	115人		

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区 分	回答者数	満足度				
		施設・活動スペース	情報共有・連携	教室・イベント	専門療育	全体
上半期	52人	99%	94%	98%	99%	98%
下半期	52人	98%	91%	98%	98%	96%
利用者の主な意見・要望等	入口の自動ドアの前に、腰くらいの高さでもいいので、柵がほしい。					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内 容	参加者数等
年中行事	入園式、卒園式、夏まつり、クリスマス会、節分、など	1,034人
誕生会	誕生月の児童を対象に毎月お誕生会を実施	410人

5 主な修繕実績

(単位:円)

修繕箇所・修繕名等	内 容	金 額
保育室ドア	遊戯室・うさぎ組ドアの鍵(サムターン)交換 ・ぞう組トイレドアレール浮きを固定	164,316円
保育室ドア	遊戯室・うさぎ組入口扉の壊れて一部部品が外れた箇所、部品全体を新しいものに交換取付	79,646円
調理室・排水口(共有部分)	厨房排水口周りの穴埋め修繕工事	53,559円

6 収支状況

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合 計
収入額 A	217,616,490	221,899,254	218,764,042			658,279,786
内、指定管理料 a	216,048,500	220,677,000	217,180,000			653,905,500
内、給付費収入	0					0
支出額 B	217,616,490	221,899,254	218,764,042			658,279,786
内、人件費	114,852,151	119,857,046	119,516,828			354,226,025
収支額 A-B	0	0	0			0
対前年度比	—	0	0			—
想定事業費 C	343,074,339	395,832,208	357,687,214			1,096,593,761
削減額 C-a	127,025,839	175,155,208	140,507,214			442,688,261
特記事項 (増減額の説明等)						

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	不適事項なし
第2四半期	A	不適事項なし
第3四半期	A	不適事項なし
第4四半期	A	不適事項なし

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		直接支援員の利用者への支援態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		20 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、引き続き園児の体調に気を配りながら、年間を通して行事の開催を行った。特に八木崎保育所と合同開催を行う夏祭りでは、春日部高校のボランティアが事前活動を行ったことにより、当日、幼児たちは高校生ボランティアに打ち解けた様子で行事を楽しむ姿が見受けられた。住民に対するサービスとしては、3歳以下の外部の幼児を対象に、作業療法士・理学療法士による発達相談会を月に2回開催している。経費については、市が直営した場合の想定事業費と比較して約1億4,000万円の削減を達成した。
指導に対する対応・改善状況について
不適事項は特にありません。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)
相談支援事業についてR4年度と比較して約10件の増加がみられた。一方、保育所等訪問支援については、約10件の減少であった。コロナの5類移行により、開園当初から課題としていた保護者同士のつながりの場「きらきらサロン」を開催することができた。この他、運動会、家族参観や誕生会などの行事も行うことができた。今後は自主事業を計画に沿って進めるとともに、地域や関係機関との連携を行い、交流を深めていくことが課題である。

令和5年度の評価結果

A